

## 施設長挨拶

ようやく暑さもひと段落し、秋の足音も近づいております。皆さま、いかがお過ごしでしょうか？新型コロナウイルスも5類へ移行し日常的にノーマスクも珍しくない今日ですが、法人内でも職員や同居家族等の感染報告が増えています。春のクラスターを二度と繰り返さないために職員一同気を引き締めてまいります。最近では2回目の感染報告も聞かれており、まだまだ予断を許さない状況ですが毎週PCR検査と抗原検査をそれぞれ行い、消毒やマスク着用など予防策を継続しています。

行事や対面面会につきましては少しずつではありますが、日常を取り戻しつつあります。外出や外泊はもう少し先になると思いますが、面会回数を増やしたり、行事等もこのあと紹介させていただきますが、お盆法要や敬老会など実施することが出来ました。家族会や夕涼み会なども含め、概ね事業計画の通り皆さまへ楽しいひと時を届けられそうです。合わせて予約なしでいつでも、ご利用者のお部屋でも面会できる環境を整えていけるよう努めてまいります。（間接的ではありますがボランティアさんも再開しました！）ご意見などございましたら遠慮なくお伝えください。

ちょうど1年ほど前にこの「もみの木」の挨拶文にて「食事や入浴などいわゆる身体的な介護だけではなく、気持ちや心まで幸せを感じていただけるような対応もとても大切です。そのようなより良い支援を実践するには、自分や仲間も幸せを感じることで、共に仕事を楽しめるような環境であることが前提にあると思っています」と述べさせていただきました。1年経って振り返ってみると、介護技術や知識・経験は1年分向上したと思いますが、皆さんそれぞれの幸せや仕事を楽しむを持って出来る環境については、恥ずかしながら一進一退かと思えます。

現状に甘んずることなく七転び八起きの精神で、精一杯皆さんを盛り上げ「ひかり苑にいて良かった」と感じてもらえるよう今後も努力してまいりますので、今しばらくお時間をいただけたらと思います。季節柄、体調にはご留意いただき健康に過ごしてまいりましょう。

施設長 河野 雄太

## お月見

9月29日にお月見を行いました。

前日に、ご利用者の皆様と一緒に団子を作り、食堂には作ったお団子とすすきを飾りました。

当日は、何名かのご利用者と一緒に屋上へ上がり、写真撮影を行いました。曇っていましたが、運が良く月が顔を出してくれて皆さん嬉しそうにしていました。久しぶりに夕食後の外の空気を吸って「落ち着くわ」と笑顔でした。

次年度は、くっきりと晴れるといいですね





# リハビリだより

〈t-PA療法について〉

リハビリ業務をして30数年となりました。普段、思っていることがあります。脳の血管を詰まらせることで生じる脳梗塞は、様々な症状を引き起こしたり後遺症を残します。半身麻痺や失語症で身体や言語の自由が奪われ日常生活を困窮にします。患者様と一緒にリハビリ努力されても障害が残り、あるところで回復はステイとなります。もしt-PA療法（血栓溶解療法）を受けていたら麻痺や言語障害が残らず穏やかな日常生活を送れたことを想像すると残念でなりません。

このt-PA療法は、脳梗塞発症後4時間以内に行えば有効ですが4時間を超えますと行えません。4時間を超えて行くと脳が壊死（脳細胞組織の死滅）して脳出血を引き起こします。4時間内に行うことが鉄則となります。t-PA療法は、脳神経外科医のいる病院しか扱えません。ご自身の住む周辺病院でt-PA療法ができるのか、一度ご確認くださいおくことも必要に思います。

t-PA療法は、2005年に登場した療法ですが実際多くの方々への周知は薄いかと思えます。毎年の家族会の中で私が説明しておりました。この度、コロナ禍という事もあって実施できませんでしたので今回、取り上げさせて頂きました。ご参考になれば幸いです。

## お盆法要

実に四年ぶりにご住職をお迎えしての、本寸法でのお盆法要となりました。「お盆」とは何か、施餓鬼の精神について等々いつも為になる説法をされた後、今年はやや短縮版ながら、これまた久しぶりのピアノと歌の時間、久しぶりではありましたが、皆さん大きな声で歌われ、「夕焼け小焼け」の精神でひかり苑が満たされましたと感じます。

ご住職も仰いました通り、来年もまた同じ顔ぶれで法要に臨めることを願って已みません。





## 医務だより

コロナ禍で中止となっていた家族会、対面面会、お盆法要、1階多目的ホールでの夏祭り、生活リハビリが再開となりました。コロナが5類に移行となったとは言え、まだまだ感染者が増加している現状ではあり、気の抜けない日々が続いております。

今年度に入ってからひかり苑での救急搬送件数は、4件となっております。先日も、救急要請のため119番に電話をしましたが、なかなか繋がらず5分ほど時間がかかったことがありました。また、すぐ繋がったとしても近隣の救急車が出払っており遠方から向かうため、ひかり苑まで30~40分かけて到着することがありました。救急要請から救急車の到着までがスムーズであったとしても、搬送先の病院が決まるまで3時間近くかかったこともありました。

私たち看護師の願いは、ご利用者の皆様に1日でも長く生活の場であるひかり苑で、いつも通り変わらず穏やかに過ごして頂くことです。これからも嘱託医、他職種と連携を図りながら、ご利用者の皆様の健康管理に努めていきたいと思っております。



## 敬老会

9月14日に敬老会を行いました。各部署の職員が協力し合い飾り付けや演目を行いました。

今年は節目の誕生日を迎える方々が沢山いらっしゃり最年長の方はなんと100歳！拍手と賞状でそれぞれお祝いしました。祝いの演目に、職員による「南京玉すだれ」「ピアノ&ギター」を披露しました。練習の甲斐あり皆さんに盛り上がり頂けました。最後は紅白練り切りをつまんでお開きとなりました。

これからもお元気で！ひかり苑での生活を楽しんでください。



## 園児たちとの交流会

## ご利用者紹介

### 長谷川 寛治様

令和5年2月にひかり苑に入所されました。長谷川様は物静かで、誰に対しても礼儀正しく接して下さいます。長年にわたり、多くの職人さんを取りまとめて戸建て住宅を建ててこられたのだそうです。少し前に初ひ孫様がお生まれになり、ご家族がご持参くださった写真に目を細めるように見ているらしいです。初ひ孫様を抱っこできる日が来ることを、職員一同心より願っております。



### 笹野井 明子様

令和5年3月にひかり苑に入所されました。動物を愛され、ウィットに富んだ受け答えをされる笹野井さんは、ファッションにも一家言ある方で、入所時に持ち込まれた衣服の数々は概ねご自身で選んで購入されたものだそうです。お気に入りの服を着るのが楽しいとのこと。中でも好きなのはチャイナ服仕立ての上下だそうです。着道楽、素敵ですね。

### 佐藤 なみ様

令和5年5月にひかり苑に入所されました。笑顔が素敵な佐藤さんはいつも他の利用者さんの事を気遣って下さいます。看護師をされていたとのお事で、優しい微笑みに面影が残っています。入所時は不安な表情も見られていましたが、今では行事を楽しまれる等、苑での生活にも慣れたご様子です。これからもひかり苑で元気にお過ごしください。



### 10月

4日 理美容  
13日 特別なお食事  
創作クラブ  
19日 ホーム喫茶  
誕生会  
20・27日  
ケアプラン会議

### 11月

1日 理美容  
10日 特別なお食事  
創作クラブ  
16日 ホーム喫茶  
誕生会  
17・24日  
ケアプラン会議  
30日 衣類販売

### 12月

6日 理美容  
8日 特別なお食事  
創作クラブ  
21日 クリスマス会  
15・22日  
ケアプラン会議  
22～24日 ゆず湯  
28日 正月飾り

ひかり苑のホームページはご存じですか？  
日々の行事など苑での様子を載せておりますので是非ご覧ください。



### 編集 発行

社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会特別養護老人ホームひかり苑

発行者 施設長 河野 雄太

編集 広報委員会

〒189-0024

東京都東村山市富士見町2-7-40

電話 042-398-1801 FAX 042-398-1804

